

特定健康相談運用手順書

フローチャート	作業手順	備考・注意事項
<p>フローチャート</p> <p>利用申込 () 担当 (事業場)</p> <p>↓</p> <p>個人票を預かり 産業医に届ける</p> <p>(コーディネーター)</p> <p>↓</p> <p>個人票チェック 記録作成</p> <p>(産業医)</p> <p>※</p> <p>↓</p> <p>個人票・記録返却 意見聴取</p> <p>(コーディネーター→事業者)</p> <p>↓</p> <p>脳・心臓疾患ハイリスク者 相談券発行</p> <p>(コーディネーター)</p> <p>↓</p> <p>保健指導を受ける</p> <p>(産業医→個人)</p>	<p>①ホームページより申込書引出、記入・申込を行う。[別紙1]</p> <p>①事業場より個人票を預かり記録票[別紙2]をセットする。</p> <p>②個人票及び記録票を産業医に届ける。</p> <p>①産業医は個人票をチェックし指導、意見を記入する。</p> <p>②産業医は同時に面接指導の可否を判定する。</p>	<p>①HP 対応不可の時コーディネーターが FAX を送り申込を行う。</p> <p>②前年実施した事業場へはプッシュする。</p> <p>①個人票は必ずコピーを預かる。</p> <p>②初めての事業場へは内容を説明に行く</p> <p>①指導・意見欄の記入をもって意見聴取とする</p>
	<p>※ 面接指導(要)の者 (脳心臓疾患ハイリスク者=産業医が判定)</p> <p>①コーディネーターは産業医より個人票及び記録票を預かり、整理して事業者へ届ける。</p> <p>②同時に面接指導の(要)の者の面接相談券[別紙3]を発行し事業者へ届ける。</p> <p>③事業者は面接相談券を対象者に渡し面接指導を勧奨する</p> <p>①対象者は指導された産業医のところへ出向き指導を受ける</p> <p>②相談券を発行された者の動向をフォローする。[別紙4]</p>	<p>① 事業主は意見欄をチェックし産業医の元へ出向いて、意見を聞く。</p> <p>①すでに治療中及び治療を開始したものは対象外としてコーディネーターに連絡を入れる。</p> <p>①相談券発行日から1ヶ月以内有効</p>